

(様式 1-3)

富岡町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	8	事業名	富岡町水産業共同利用施設復興整備事業	事業番号	C-7-1
交付団体	富岡町	事業実施主体 (直接/間接)	富岡町 (直接)		
総交付対象事業費	17,100 (千円)	全体事業費	160,305 (千円)		
事業概要					
相馬双葉漁協では、かご漁業や刺し網漁業等の沿岸漁業が主で、さけ、すずきなどの水揚げで総漁獲量約 41 トンあり、富岡町の産業の一角を担っておりましたが、東日本大震災による大津波で壊滅的被害により従前の漁協施設が流失したことから、水産業の拠点施設として、漁業者の共同作業保管施設、上架施設、漁業研修室等、付帯設備等の整備をし、試験操業など風評被害の払拭を図る。 当初、事業計画では、平成 28 年度までに共同利用施設を完成させることを主たる目的としており、福島県災害復旧工事との調整の上で事業を進めてきたが、県道広野小高線など、他事業間の工程調整に期間を要したほか、漁業再開者の意向確認の結果、造船状況の変化など、施設整備に係る設計内容に変更が生じたため、事業計画を見直すもの。 【整備予定施設】 上架施設(ウィンチ、船揚レール)、ウィンチ小屋【約 21 m²】、漁業研修室【63 m²】、屋内電灯設備、動力設備、浄化槽等給排水設備、空調設備、消火設備、換気設備等、漁具倉庫 (共同作業保管施設)【約 225 m²】施設周辺舗装工事 「富岡町災害復興計画 (第二次)」 P36 「第 3 章 基本方針を実現するための重点プロジェクト 2-2」魅力ある拠点として整備に位置付 P65 「第 5 章 分野別の具体的取り組み」(3)産業再生・創出 5.地域産業の再生・創出 5-3 地域産業の新たな取り組み推進(1)農業・林業・漁業の再生への取り組みに位置付					
当面の事業概要					
<平成 27~30 年度> 共同利用施設整備に係る設計業務(共同作業保管施設、漁業研修室、ウィンチ小屋) 一式 なお、福島県と調整の上、工事に着手予定 <平成 28・29 年度> 上架施設(ウィンチ、船揚レール)整備に係る設計業務					
東日本大震災の被害との関係					
富岡漁港内に立地する水産業関連施設は、地震及び津波によりすべての施設が流失し、甚大な被害を受けた。原発事故の影響により沿岸海域での漁業操業の自粛や、風評被害の発生など、水産業を取り巻く環境は極めて深刻であり、震災前のにぎわい回復や水産業の復興拠点として環境整備が必要となる。					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	